

平成21年度 病虫害発生予察情報

発生予報第10号（10月）

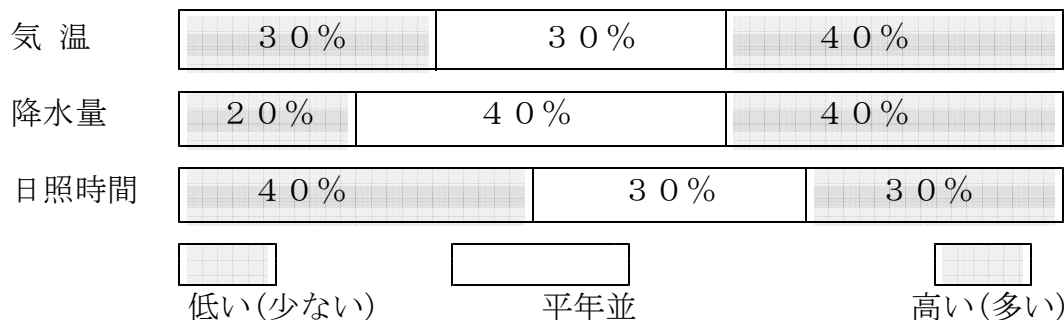
平成21年10月 7日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや少ない
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
		菌核病	やや少ない
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	少ない～やや少ない

中国地方1か月予報（10月3日～11月2日・広島地方気象台10月2日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



防除所ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>

A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県下カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ①予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数はやや少ない。
- ②9月下旬の巡回調査での被害果率は0.8%（平年6.5%）とやや少ない。
- ③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ①10月第1半旬現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず（平年発生圃場率15.6%）、全般の発生量は平年に比べてやや少ない。
- ②向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

①10月第1半旬現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず（平年発生圃場率1.4%）、全般の発生量は平年に比べてやや少ない。

②向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 平年並

予報の根拠

①10月上旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の寄生株率は6.0%（平年5.4%）で発生量はほぼ平年並みである。

②10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 やや少ない～少ない

予報の根拠

①フェロモントラップによる7月から現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の57.6%（今年：927頭、平年1608.5頭）、益田市で平年の56.8%（今年1419頭、平年2498.1頭）とやや少ない。

②9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は0%（平年51.5%）、寄生株率は0%（平年8.9%）で発生量は少ない

③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>